



平成22年11月5日

各位

会社名 サンケン電気株式会社  
代表者名 代表取締役社長 飯島貞利  
コード番号 6707 (東証 市場第一部)  
問合せ先 I R 室長 高荷英雄  
TEL (048)487-6121

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成22年8月9日に開示しました通期連結業績予想の修正を決定いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正

平成23年3月期 通期連結業績予想の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 150,000	百万円 6,500	百万円 5,000	百万円 3,000	円 銭 24.70
今回修正予想(B)	146,000	6,500	5,000	1,200	9.89
増減額(B-A)	△4,000	0	0	△1,800	—
増減率(%)	△2.7	—	—	△60.0	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	134,134	△5,482	△6,048	△18,950	△156.05

#### 2. 修正理由並びに今後の対応

エレクトロニクス業界は、今後も回復基調で推移することが見込まれますが、米国及び欧州景気の減速懸念が強まった場合、在庫調整局面が更に加速するものと考えられます。また、夏場以降急速に進んだ円高が今後も継続した場合、当社グループの収益に影響を及ぼすことが想定されます。こうした経営環境に加えCCFL事業の需給動向など、当社を取巻く状況は不透明さを増して行くことが予想されます。通期の売上高につきましては、経営環境並びに円高の影響等を踏まえ上記の通り予想値を修正いたします。通期の損益につきましては、現在実施している構造改革の効果を見込み、営業利益及び経常利益の予想値を据え置くこととし、純利益の予想値は、円高による影響並びに今後実施予定の海外子会社でのストックオプション買取り等を考慮し、上記の通り修正いたします。

今後当社グループでは、コアビジネスである半導体デバイス事業を中心に、「エコ・省エネ」及び「新興国」等の成長市場に向け、積極的に新製品を投入してまいります。特に自動車・白物家電向け製品につきましては、引き続き需要の拡大が見込まれ、また、TV向け製品につきましても堅調な販売が想定されます。当社グループは、これらの動きを着実に収益に結び付け、生産体制の増強・再編などの構造改革を推進するとともに固定費抑制にも注力し、上記業績予想を達成いたしたいと考えております。

なお、本業績予想の修正に伴う配当予想(中間配当3円、期末配当3円)の修正は予定しておりません。

以上